

2024 年 8 月 5 日

食物栄養学科 過去に実施した学校推薦型選抜入試に関する Q&A

Q1. 学校推薦型入試はどのようなものですか？

A1. 学校推薦型選抜入試では、本学における勉学への意欲と基礎学力、論理的思考力について、小論文試験と面接試験により、アドミッションポリシーに基づき総合的に判断して選抜するものです。

Q2. 学校推薦型選抜入試の特徴はどんなところですか？

A2. 面接試験では、本学・本学科に対する関心を持っているか、基礎学力と論理的思考力・表現力を備えているか、本学に入学して健康・栄養分野について勉学する意欲を有しているか、そしてコミュニケーション力などを評価します。

また、調査書では、高校在学中に習得した基礎学力などを、小論文では、論理的思考力と表現力を評価します。それらの結果に基づき総合的に判断して選抜します。

Q3. 小論文試験では、どのような対策が必要ですか？

A3. 小論文試験では、論理的な思考力と表現力を評価します。一般的な小論文ではなく、健康・栄養などに関連した評論文章を読解して、内容を論理的に把握すること、そのうえで自己の考えを表現できるようにしておくといいです。

Q4. 資格推薦入試は、どのレベルの資格で合格できるのでしょうか？

A4. 全国高等学校家庭科食物調理技術検定あるいは実用英語技能検定の資格取得レベル、高校在学中の学習成績、学内外活動等に関して、調査書により評価します。これらに加えて本学における学習意欲、本学・本学科に対する関心度、コミュニケーション力などを面接試験により評価します。それらの結果に基づき総合的に判断して選抜します。

その年の受験生が取得している資格のレベルで異なるので一概には、何級で合格できるとは言えませんが、一般的に言えることとして、より上級のレベルが必要となります。